

[First Hit](#)[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

Generate Collection

Print

L1: Entry 1 of 2

File: JPAB

Dec 18, 1991

PUB-NO: JP403287683A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03287683 A

TITLE: ADHESIVE FOR WALL PAPER, SLIDING DOOR PAPER, OR THE LIKE

PUBN-DATE: December 18, 1991

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

HIRAI, JUNICHIRO

FUJISAWA, YASUYUKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

TOKIWA KOGYO KK

APPL-NO: JP02088874

APPL-DATE: April 2, 1990

US-CL-CURRENT: 206/524.1

INT-CL (IPC): C09J 103/02; B65D 65/46

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain an adhesive adaptable to the use for wall paper, sliding door paper, etc., without making the hand dirty by enclosing a prescribed amount of a granular starch for an adhesive in a packaging material made of a water-soluble film sheet and putting it in a prescribed amount of water before use.

CONSTITUTION: A prescribed amount of a granular or powdery starch for an adhesive with or without a very small amount of an additive (e.g. an antiseptic and mildewproofing agent) is enclosed in a packaging material made of a water-soluble film sheet (e.g. PVA resin sheet) and hermetically sealed to give the title adhesive. Since this adhesive consists of solid matter only, it can realize the reduction in transportation cost, the narrowing of storage space, and the reduction in weight to be carried. Because it is packed, weighing is unnecessary, the operation can be performed rapidly, and a required quantity of the paste can be prepared quickly and easily. By putting it together with the bag in a prescribed amount of water before use, the viscosity can be adjusted to suit to the use for wall paper, sliding door paper, etc., without making the hand dirty. Since it does not come into direct contact with the hand, various bacteria can be prevented from getting mixed therein, so that its decay can be prevented.

COPYRIGHT: (C)1991, JPO&Japio

[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

[First Hit](#) [Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)

End of Result Set

☐ [Generate Collection](#) [Print](#)

L1: Entry 2 of 2

File: DWPI

Dec 18, 1991

DERWENT-ACC-NO: 1992-044437

DERWENT-WEEK: 199206

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Water-soluble film packaged adhesive compsn. for wallpaper, etc. - obtd. by hermetically packaging granular or powdery starch adhesive, in container of water-soluble film or sheet

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

CODE

TOKIWA KOGYO KK

TOKIN

PRIORITY-DATA: 1990JP-0088874 (April 2, 1990)

[Search Selected](#)

[Search ALL](#)

[Clear](#)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE

PAGES

MAIN-IPC

☐ [JP 03287683 A](#)

December 18, 1991

000

APPLICATION-DATA:

PUB-NO

APPL-DATE

APPL-NO

DESCRIPTOR

JP 03287683A

April 2, 1990

1990JP-0088874

INT-CL (IPC): B65D 65/46; C09J 103/02

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 03287683A

BASIC-ABSTRACT:

Adhesive compsn. is obtd. by hermetically packaging granular or powdery starch adhesive with or without small quantities of additives in a packaging container made of water-soluble film or sheet and, using water under agitation to prepare the adhesive paste.

Additives which may be blended into the adhesive compsn. are e.g. spray-dried ethylene vinyl copolymer resin and powdery preservative and mildewcide. Water-soluble film is polyvinyl alcohol film.

USE/ADVANTAGE - The water-soluble film packaged adhesive compsn. is convenient for transport, storage and paste prepn., because it is 100% solid, tightly packaged and is easily dissolved.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/0

TITLE-TERMS: WATER SOLUBLE FILM PACKAGE ADHESIVE COMPOSITION WALLPAPER OBTAIN
HERMETIC PACKAGE GRANULE POWDER STARCH ADHESIVE CONTAINER WATER SOLUBLE FILM SHEET

DERWENT-CLASS: A18 A81 G03 Q34

CPI-CODES: A03-A00A; A12-P01A; A12-R02A; A12-R07; G03-B02A;

POLYMER-MULTIPUNCH-CODES-AND-KEY-SERIALS:

Key Serials: 0231 0241 0789 1989 2007 2008 2304 2319 2366 2502 2513 2522 2541 2575
2673 2675 2682 2698 2725 2774 3155

Multipunch Codes: 014 034 04- 041 046 047 066 067 231 244 245 259 27& 300 330 342
361 381 393 397 435 442 477 502 525 526 532 537 609 613 618 62- 722 725 024 078 198
200 200 230 231 236 250 251 252 254 257 267 267 268 269 272 277 315

SECONDARY-ACC-NO:

CPI Secondary Accession Numbers: C1992-019538

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1992-033739

[Previous Doc](#)

[Next Doc](#)

[Go to Doc#](#)

⑫ 公開特許公報(A) 平3-287683

⑤ Int. Cl.³C 09 J 103/02
B 65 D 65/46

識別記号

J A F

庁内整理番号

6770-4 J
9028-3 E

⑬ 公開 平成3年(1991)12月18日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 壁紙、襖紙など用の接着剤

⑮ 特 願 平2-88874

⑯ 出 願 平2(1990)4月2日

⑰ 発 明 者 平 井 純 一 郎 大阪府大阪市西成区南開1丁目2番17号 トキワ工業株式会社内

⑱ 発 明 者 藤 沢 靖 之 大阪府大阪市西成区南開1丁目2番17号 トキワ工業株式会社内

⑲ 出 願 人 トキワ工業株式会社 大阪府大阪市西成区南開1丁目2番17号

⑳ 代 理 人 弁理士 鈴木 ハルミ

明 細 書

1. 発明の名称

壁紙、襖紙など用の接着剤

2. 特許請求の範囲

1. 顆粒状あるいは粉末状の所定量の接着剤を用でんぶんに微量添加物を加えまたは加えずに、水溶性フィルムシート製の包装体に該接着剤を用でんぶんを収納、密閉して該包装体ごと水中に投入、攪はんして糊状とすることを特徴とする壁紙、襖紙など用の接着剤。

3. 発明の詳細な説明

<産業上の利用分野>

本発明は、主として壁紙接着施工用の接着剤に係るものである。

<従来の技術>

現在、壁紙施工業界において一般的に使用している壁紙用接着剤は、でん粉末を主成分として該粉末約20[%]に水約80[%]を加えて糊状にしたものを容器に収納して販売し、施工業者が施工時にさらに約2倍の水で希釈して使用していたの

である。

<発明が解決しようとする課題>

上記のように従来の接着剤は、水約80[%]、固形分が約20[%]であるから施工現場への輸送では、水の重量が殆どであるとともに容器の嵩も水の分嵩が高く運搬の手間、輸送費用等を多く必要とする欠点があった。

そこで、これらの欠点を改善するものとして粉末状の接着剤が紙、プラスチックシート製などの各種の袋に収納されて既に市場において発売されている。施工時、袋から出した前記粉末状の接着剤に所定量の水を注入し、あるいはその逆に所定量の水の中に接着剤を入れて攪はんして糊状とするものである。

ここで、顆粒接着剤を得るについての重要な留意点として、イ、適度の粘度と、初期接着力があること(この力がないと天井への施工が出来ない)、ロ、裏紙への水分が過剰に吸収されないこと(裏紙に水分を吸収されると紙面で糊を拡散しにくく、また紙間剥離ができない。)、ハ、7日間程度の

粘度保持が可能なこと。7日以上防腐、防かび効果を維持できる。二、外的な性能として無臭または通常施工用の糊、接着剤と同様の匂いがあり、白色であること。が要求される。

これらの内、外的な性能は充足するのが容易であるが、他の接着剤としての性能について、前記粉末状の接着剤が水に投入して分散性がよいこと、即ち「だま」(あるいはまことも言う)が生じないことは極めて重要なものである。

ところが、該粉末状の接着剤はその性質上、吸湿性があるため固まり易いが水への投入時に分散性が低く、攪はんしても軽い粉末が水面上に多く拡散して溶解が遅く、一部は固まり、完全には混合、溶解しがたくいわゆる「だま」あるいは「まこ」と称する小塊が出来、全体が完全な糊状態にならない。このような「だま」が壁紙の接着施工時における接着性、防腐、防かび性、糊の粘度保持等を劣化させる由由しい問題があり、結局普及に至っていないのが現状である。

本発明は、上記従来の接着剤の欠点を改善する

ために開発したものである。

<課題を解決するための手段>

本発明は、粉末状の防腐、防かび剤など必要添加剤を混入した接着剤用の顆粒状でんぷんを、水溶性フィルムシート製包装体に収納してなることを特徴とする壁紙用の接着剤である。

<作用>

水溶性フィルムシート製包装体に所定量収納した本発明接着剤を施工時、所要量の希釈用の水に投入して攪はん、溶解する。

<実施例>

顆粒状エーテル架橋でんぷん	9.0
粉末酢酸ビニル-エチレン共重合樹脂	0.9
粉末防腐防かび剤	0.1
計	(重量比) 10.0

上記混合物を、水溶性フィルムシート(市販のポリビニルアルコール樹脂)で製作した袋に所定量収納、密閉して製品とし、販売する。

施工業者または一般家庭での日曜大工での使用時には、所定量の希釈水に上記水溶性の袋を投入

すると、その重量で袋は水中に没し、袋は水溶性攪はんによって内部の接着剤は水中で十分攪はんされて溶解し、「だま」は生じることなく、所定粘度の糊を簡単に得られる。

希釈水と接着剤の重量比は約10～12:1であるが目的、紙質、天候、気温等により調整すればよい。

<発明の効果>

固形分のみ故に、運送代の軽減、在庫スペースの縮小、運搬重量の軽減が図れる。バック詰めに行っているために、計量が不要となるために、作業が迅速になる。

必要量の糊を迅速かつ容易に作成することができる。

また、水溶性樹脂の袋を使用することにより、糊の計量が簡素化された。粉末を水中で糊化させる場合の粉立ちを最小限にする特長を持つ。

使用する場合、あらかじめ一定量の粉末を袋に入れ所定量の水に入れることにより、手を汚さずに壁、天井、障子、ふすま用に適合するように簡

易に糊の粘度を調整することができ、手を直接触れないことにより雑菌が糊に混入するための腐敗を早め物性を低下させることを防止している。

従って前記の効果は、配合材料中の防腐・防かび剤との相乗効果を生み、20日以上のもち維持が可能としたことが実験により判明した。

出願人 トキワ工業株式会社

代理人 鈴木ハルミ

自 発 手 続 補 正 書

平成 2 年 5 月 2 9 日

特許庁長官 吉 田 文 毅 殿

1. 事件の表示

平成 2 年 特 許 願 第 8 8 8 7 4 号

2. 発明の名称

壁紙、模紙など用の接着剤

3. 補正をする者

事件との関係 特 許 出 願 人
トキワ工業株式会社

4. 代 理 人

住 所 〒541 大阪市中央区平野町 2 丁目 1 番 2 号 沢の鶴ビル
氏 名 (8186) 弁理士 鈴木 ハルミ

5. 補正命令の日付

平成 年 月 日(自発)

6. 補正の対象

明細書の「発明の詳細な説明」の欄

方 式 査 査



7. 補正の内容

1. 明細書の第 1 頁下から第 8 行目の「接着施工」の記載を「施工用」と補正する。

2. 同上同頁下から第 4 行目の「でん粉末」の記載を「でんぶん」と訂正する。

3. 同上同頁下から第 3 行目の「粉末」の記載を「でんぶん」と訂正する。

4. 同上第 2 頁第 6 行目の「水の分」の記載を「含水量分だけ」と補正する。

5. 同上同頁下から第 3 行目の「ロ。」の次に「施工時、壁紙及び模紙の」の記載を挿入する。

6. 同上同頁最下行の「また」の次に「貼り替え時の」の記載を挿入する。

7. 同上第 3 頁第 2 行目の「外的な性能として」の記載を削除する。

8. 同上同頁第 5 行目の「内、外的な性能は充足するのが」の記載を「各留意点を充足するのは」と訂正する。

9. 同上同頁第 6 行目の「他の接着剤としての性能について」の記載を「接着剤としての性能にお

いて」と補正する。

10. 同上第 4 頁最下行の「水溶性の袋」の次に「入り粉末状態」の記載を挿入する。

11. 同上第 5 頁第 1 行目の「水中に」の次に「半分以上」の記載を挿入する。

12. 同上同頁第 3 行目の「生じることなく」の記載を「生じにくく」と訂正する。

13. 同上同頁下から第 5 行目の「簡素化された。」の記載を「簡素化され、」と訂正する。

14. 同上同頁下から第 3 行目の「粉末」の記載を「粉末状態」と補正する。

15. 同上同頁最下行の「ふすま」の記載を「模」と補正する。

16. 同上第 6 頁第 3 行目の「早め」の記載を「遅らせ、」と訂正する。